第３回

全国銘酒と宮城の旬のマリアージュ

選りすぐり５蔵の日本酒と味覚の饗宴

料理はイメージです

DATE

開催日　2020年2月28日(金)

場　所　ホテルニュー水戸屋
1階　コンベンションホール「曙」

時　間　〈開場〉18:30　〈開宴〉19:00

全国選りすぐり参加蔵元と代表銘柄

株式会社鳴海醸造店（青森県）	稲村屋文四郎
男山本店（宮城県）	蒼天伝
合資会社川西屋酒造店（神奈川県）	隆
関谷醸造株式会社（愛知県）	蓬莱泉
株式会社醉心山根本店（広島県）	鳳凰醉心

※参加予定が一部変更になる場合もございますのでご了承ください。

各蔵元代表者のご挨拶と蔵元のご紹介

❖

『全国銘酒と宮城の旬のマリアージュ』
お食事 および 試飲会 & ご歓談

各蔵元が誇る自慢の銘柄と、
料理長が腕をふるった旬の味覚が並びます。
それぞれの日本酒とお料理の相性を見極めて
あなた好みの最高の組み合わせを
味わいながらお楽しみください。

厳選銘酒と宮城の旬のマリアージュ
【 先着200名様限定 】

1泊2食付 おひとり様（諸税・サ込） 22,150円

●上記料金には各蔵元提供の日本酒代も含まれております。●2名様よりお申し込みください。●企画の特性上、未成年の方はご予約受け付け出来かねますのでご了承ください。

無料シャトルバスをご利用いただけます〈予約制〉【仙台駅東口▶ホテル】15:00／16:00　【ホテル▶仙台駅東口】9:30／11:30

仙台の奥座敷／秋保（あきう）温泉
ホテルニュー水戸屋

〒982-0241　宮城県仙台市太白区秋保町湯元字薬師102
ご予約・お問合わせ（受付時間/8時～20時）　022-398-2301
https://www.mitoya-group.co.jp

協賛企業
～おかげ様で四周年～
三代目旭屋本店

参加蔵元のご紹介

今回ご参加いただきました各蔵元と代表銘柄を簡単にご紹介いたします。
どれも希少な逸品となりますので、是非この機会にご賞味ください。

株式会社鳴海醸造店（青森県）『稲村屋文四郎』

文化3年（1806年／江戸時代後期）津軽・黒石にて創業。
『菊乃井』の名で知られる蔵元は、藩政時代の佇まいを今に残す「こみせ通り」に店を構える老舗の造り酒屋です。当主に代々受け継がれる名跡を冠した『稲村屋文四郎』は全国新酒鑑評での数々の受賞歴のほか、青森県産清酒鑑評会で人気銘酒を抑え史上初の完全勝利三冠に輝いています。

男山本店（宮城県）『蒼天伝』

大正元年（1912年）現在の宮城県気仙沼市にて創業。
東日本大震災を乗り越え、創業から100年を越えて「伏見男山」の銘柄を販売する老舗蔵で毎年数々の賞を受賞しています。“気仙沼の青空のように澄んだ爽やかな味わい”がコンセプトの「蒼天伝」。厳冬に低温でゆっくりと発酵させた純米大吟醸は果実のような吟醸香と繊細な味わいが特徴です。

合資会社川西屋酒造店（神奈川県）『隆』

明治30年（1897年）現在の神奈川県足柄上郡山北町にて創業。
看板銘柄は「丹沢山」そして『隆』。食物との一体感を信条に互いに奏で合う卓越した技で醸しだし、それぞれの個性引き出す力が愛される理由です。その中でも最高峰の『黒金隆』が登場。2年熟成の酒で純米ながら穏やかな吟香です。高貴でなめらかな旨味、これぞ極上酒の味わいです。

関谷醸造株式会社（愛知県）『蓬莱泉』

元治元年（1864年／江戸時代幕末）現在の北設楽郡設楽町にて創業。
西の横綱とも呼ばれる超人気プレミアム酒『蓬莱泉』は、長きに渡り東北へ出荷されることがありませんでした。「摩訶」「吟」「空」などは日本酒通であれば誰もが一度は口にしたいと思う銘酒ですが、完全特別分配出荷という稀少価値の高さ故になかなかお目にかかることのできない銘柄です。

株式会社醉心山根本店（広島県）『鳳凰醉心』

万延元年（1860年／江戸時代幕末）備後国三原（現・三原市）にて創業。
20数種もあった銘柄を統一しようと思案していた2代目が、夢枕でお告げを受けたのが“醉心”の始まりです。中でも数々の賞を受賞してきた「鳳凰醉心」は、極限の30%まで磨いた山田錦と鷹ノ巣山伏流水の超軟水を使用して醸し上げた、正に『究極』といえる大吟醸です。